

学んでみませんか 「深い学び」の実現に 向けた具体策

平成29年度小・中学校新教育課程説明会（中央説明会）における文科省説明資料「新しい学習指導要領の考え方ー中央教育審議会における議論から改訂そして実施へー」（2017）では、深い学びについて「習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。」と記述されています。

この深い学び実現のために大田区理科指導研究会では、2人の講師の方に以下のような具体的な指導法を解説していただきます。

1 先行学習による習得・活用の指導

授業インストラクターの鏑木良夫先生が開発された先行学習は、東京大学の市川伸一氏の提唱されている「教えて考えさせる」を、教育現場向けにより具体化した——授業スキルと深く結びつけた——指導法と考えられます。効率よく習得させた後、習得した知識を使わせる活用課題を、生徒同士や教員との対話等で協働解決していく過程を設定することで、対話的で深い学びが実現できます。限られた時間数で、習得・活用を指導するために非常に効果的な指導法です。

2 理科授業デザイン論による探究の指導

横浜国立大学教育学部の和田一郎先生は、子どもの科学的な思考・表現を促す理科授業デザイン論を研究しておられます。今回は、和田先生の論文の一つである「主体的・対話的で深い学びを実現するための理科授業デザイン試論とその実践」等をもとに、主体的な協働学習により深い理解を具現化する授業について、実践例をもとに具体的にわかりやすく解説していただきます。探究指導を効果的に進めるための貴重な知見が得られるはずです。

大田区理科指導研究会の次第を以下に示します。参加をご希望の方は、大田区立蒲田中学校 小森信男(komo-ten251@nifty.com)まで、お名前と勤務校を明

記のうえ、ご返信ください。なお参加だけでなく、発表も可能です。発表内容や方法は特に指定はありません。時間は15分以内です。発表をご希望の方は、メールに発表希望と明記し、発表テーマと内容、方法をお知らせください。パソコンとプロジェクターは準備いたします。

- 1 日時：平成30年8月27日（月） 13：00～17：00
- 2 場所：大田区立蒲田中学校 第1理科室または第2特別教室
- 3 講師：授業インストラクター 鏑木 良夫 先生
横浜国立大学教育学部 和田 一郎 先生
- 4 内容
 - (1) 先行学習指導による「深い学び」の実現・・・・・・・・鏑木 良夫 先生
 - ①先行学習による習得の指導
 - ②先行学習による活用の指導
 - (2) 理科授業デザイン論による「深い学び」の実現・・・・和田 一郎 先生
 - (3) 発表
限られた年間授業数での活用・探究指導を可能にする基礎基本の徹底
小森 信男

* (1) と (2) は、それぞれ質疑応答休憩も含めて3時間半程、(3) は現在のところ15分程です。